



国保日高総合病院

タッチ

TOUCH



とりにある自然

コウノトリ

撮影場所：古座川町月野瀬

撮影者：小瀧賢作

も く じ

地元のマイドクター	(2)
年頭の挨拶 病院長	(3)
年頭の挨拶 事務長	(4)
最新型 MRI 装置	(5)
薬剤部における医療安全対策	(6) (7)
入院準備センター開設	(8)
New Face!	(9)
表彰・認定・研修修了者	(9)
感染症患者受け入れ訓練	(9)
外来医師担当表	(10)

No.43

2018年2月

〒649-1534

日高郡印南町印南3141

電話 0738-42-0030

地元の マイドクター

かわぐちいいん

川口医院



院長 川口 精司



診療時間
午前：8時30分～12時（但し土曜日は11時）
午後：診療はございません

受付時間
午前：7時30分 より

休診日
日曜日・祭日・土曜日午後・木曜日

川口医院

診療科
内科・胃腸科・循環器科



●院長からのメッセージ

印南町で開業してから今年で 30 年になります。開業したては患者さんたちに同じ医師であった祖父、父とよく比較されましたが、今となっては祖父、父の知らない一面を教えて頂いたと懐かしく思います。

当院はご高齢の患者さんが多く来院しております。診療所内はつまずかないよう親切にフォローし、その上難聴の方も多いため丁寧に大きな声でゆっくりと病気の説明をします。日常生活指導では特に食生活を主として運動指導、その他諸々の事をお話しします。和やかな雰囲気楽しくまさに町内患者皆家族といった感じです。

今までは一般内科、小児科、消化器及び循環器科と浅く幅広くしておりました。現在では一般内科と漢方等の東洋医学、YNSA（山本式頭針療法）、ENRAC（遠絡療法）、M-Test（Motion induced somatic response Test）といったちょっと変わった治療もしております。

なかなか患者さん達に喜んで頂いています。

日高病院さんとは積極的に病診連携をしております。又精密検査、御高診、入院加療と大変お世話になっております。本当に感謝しております。この紙面をお借りして御礼申し上げます。これからもよろしく願い申し上げます。

えんらくりょうほう

遠絡療法とは

- 1 西洋医学を根底に東洋医学の観点から独創的に理論構成したものです
- 2 日本をはじめ台湾、シンガポール、米国など約5,000名以上の医師や治療師が学んでおられます
- 3 臨床での治療実証を繰り返し、独自の効果を発揮しております
- 4 特に難治性と言われる疼痛症状に効果が高い為従来、「痛み」に苦しんでおられた、患者様に高い評価を頂いております

	月	火	水	木	金	土
午前 8:30 ~ 12:00	●	●	●	/	●	●

※午前診のみ（土曜日は 11 時まで） 木曜、日曜、祝祭日は休診



年頭の挨拶

病院長 曾和 正憲



平成 30 年の新春を迎え、心よりお慶び申し上げます。
本年もよろしくお願い申し上げます。

今後、人口が減少していく少子高齢化のわが地域においても医療提供体制を見直さなければならない時期が来ています。昨年度は、御坊保健医療圏での地域医療構想策定が行われ、構想の実現に向けて徐々に病床機能を調整してきました。平成 27 年度には地域包括ケア病棟 52 床を開設し、さらに平成 29 年度に回復期リハビリテーション病棟 30 床を開くことになりました。このことから急性期病床としては従来 300 床であったところを 183 床まで削減することとなりましたが、この結果回復期病床が 82 床増設できたこととなります。このことから患者さんの病状に応じた切れ目のない質の高い医療体制構築することができます。これからは住民の皆様と医療者がお互いに協力し合って、地域の医療を守ることが求められています。

実際の診療面においては、昨年度までに歯科口腔外科、形成外科を新設し、順調に稼働しつつあります。今年度からはさらに常勤医を増やし、新たに救急科を増設し、救急医療体制を充実させて安心、安全な救急医療体制の構築を行っていくことも計画しています。

医療が患者さんのためにあることは言うまでもないことですが、医療が医療者にとって働きがいのあるものでなければ、医療の質を確保することはできません。昨年度から、国保日高総合病院の基本方針を今までの 1. 患者中心の医療、2. 医療の安全、3. 医療水準の向上、4. 医療連携、5. 健全な病院経営に加えて、6. 職員のモチベーション向上に向けて「全職員が医療人としての誇りをもって働ける、職場環境づくりを推進します」といたしました。院内のハラスメント被害の予防、撲滅に向けハラスメント防止委員会を設置し、働きがいのある職場づくりプロジェクトを立ち上げました。ハラスメントに限らず、職場環境を悪化させるようなすべての問題についての相談や意見をいただく窓口を設置し、解決するためのシステムを立ち上げ、働きやすい環境を整備していきます。

さらに、人格育成、定着率向上を図り、これらを通して組織力の向上を目指し、プライドの向上、地域医療の質および業績向上につながります。

初期研修医、専門（専攻）医研修や医療技術者がのびのびと研修ができ、全職員がモチベーションを維持して働ける環境づくりを努力目標といたします。

皆様のご協力よろしくお願いいたします。

平成 30 年 1 月





年頭の挨拶

事務長 畑 忠良



新年あけましておめでとうございます。

平成 30 年の年頭にあたり、国保日高総合病院にご理解とご協力を頂き支えてくださっている皆様方に厚く御礼を申し上げます。

さて、人口減少に加えて人口構造が変わっていく中、我々の医療の在り方が大きく変わっていくとされています。平成 30 年度の改定は、6 年に一度の診療報酬と介護報酬の同時改定です。団塊の世代が全て 75 歳以上の高齢者となる 2025 年に向けた道筋を示す最後の同時改定となるため医療・介護両制度にとって重要な節目となります。今回の改定では、『医療機能の分化・強化、連携や、医療と介護の役割分担と切れ目のない連携を着実に進めることが重要である。』と記されています。

様々に変遷していく中で、国保日高総合病院は職員がしっかりとした絆でまとまり、健全な病院経営に改善し、より強く、時に柔軟に対応出来る体制を整えていかなければなりません。すべては地域住民の命と健康を第一に考え、「皆様に親しまれ 信頼される病院を目指します」という基本理念に基づきます。非常に厳しい診療報酬改正の中ではありますが、我々は、医療の質の向上を重視し専門性を高め、「治す医療」から、「治し支える医療」にしっかりと質的転換をしていかなければなりません。皆様に支えられ、皆様とともにしっかりとした医療を提供出来るよう、職員一同、知識の向上と技術の研磨に励んでまいります。

本年が皆様にとって健康で健やかな毎日であり、素晴らしい一年でありますよう心より祈念申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

平成 30 年 1 月



最新型 MRI 装置

画像診断センター 科長 異 政仁

MRI 装置を更新することとなりました。今回導入が決まったのはドイツ・シーメンス社製 1.5T MRI 装置です。従来の装置と比較し基本性能の大幅な向上、フルデジタル化となることで検査時間の短縮と高画質の両方を得ることができ、ソフト・ハードを一新することにより最新鋭の MRI 装置へと生まれ変わります。

その一部を紹介します。脳疾患領域では、形態的变化だけでなく循環動態、代謝活動の評価も可能となります。循環動態評価は ASL(Arterial Spin Labeling) 法といい造影剤を使わず脳血流を可視化する最新の技術です。急性期脳梗塞では有効な検査手段となり得ます。整形外科領域では脊椎、手関節、肩関節、膝関節、足関節など個別に専用コイルを準備しています。専用コイルを使うことで高速で高精細な画像診断が可能になります。それ以外にも非造影 MRA 検査の充実、体動補正技術、静音化など様々なオプションを装備しました。

改修工事は平成 30 年 2 月 9 日に着工し 3 月には再開します。私達スタッフは地域の皆様方には今まで以上に安心して検査を受けて頂けるよう、知識・技術の向上に努めて参ります。工事中はご迷惑をかける事となりますが今後ともよろしくお願い致します。





薬剤部における医療安全対策

薬剤部長 見上富美代

少し以前に遡りますが、『薬剤部』は平成 28 年 4 月に『調剤をする場所』を意味する『薬局』から、現在の『薬剤部』に部署名が変更になりました。このことは病院薬剤師の業務が、従来の調剤を中心とした業務から医薬品の適正使用の推進、適正な医薬品の保管管理、注射薬の無菌的調製および病棟薬剤管理業務等、その活動の範囲が広範かつ多様化してきており、これらの役割・業務をおこなう薬剤師が所属する部署であるという意味の変更です。

医薬品に関連する医療事故の多発に対し、処方せんの疑義照会のみならず与薬にかかる未然の事故防止や感染防止対策、抗がん剤の化学療法にかかるレジメン管理、注射薬の混合調製、入院時の持ち込み薬の対応など、医療の安全管理面における薬剤師の専門的知識を活かした積極的なリスク管理の実践が求められています。これは当院においても同様であり、様々な事情（特に人員不足ですが…）をやりくりし、今できることを薬剤部員全員で実践しております。

現在の薬剤部の業務は大きく二つ分けられます。従来からの調剤業務や院内で使用する全医薬品の在庫及び品質管理等の医薬品管理業務、市販の医薬品がないために必要に応じて調製する院内製剤業務、抗がんの無菌調製業務などいわゆる『モノ』を対象とした業務です。もう一方は薬物療法を安全に・効果的に・適切に・効率的に患者へ提供するための病棟業務や外来患者への服薬指導業務、医薬品についての情報を収集・管理しそれを医療スタッフに提供する医薬品情報管理業務など『ヒト』を対象とした業務です。前置きが長くなりましたが、『薬剤部における医療安全対策』について、これらの業務ごとにその一部を紹介します。

最初に調剤業務における医療安全対策です。『人はだれでも間違ふ』、このヒューマンエラーの回避には機械化やシステム化も有効です。薬剤部では従来からの注射薬自動払出装置（アンプルピッカー）や自動錠剤分包機、自動散薬分包機、散剤・水剤監査システムに加え、散薬調剤ロボット、ピッキング薬の取り間違いのチェックするバーコードリーダー（ポリムス）を導入し調剤の精度向上による医薬品使用の安全確保と調剤業務の効率化を図っています。しかし一方でこれらを利用できない調剤業務や運用ルールの不履行による過誤対策が現在の課題です。

医薬品管理業務における医療安全対策については、従来からバーコードを用いた医薬品管理システムによる効率的な在庫管理と自動発注を行ってきました。さらに今年度は昨年発生した『偽造医薬品事件（ハーボニー配合錠等）』により改正された関連法規に対応して、医薬品管理業務手順を改訂し、医薬品納品・検収業務の見直し、薬剤部内への立ち入り制限や薬品庫の施錠ルールを強化しました。また病棟・診療科の定数配置薬や処置薬については従来の在庫調査や有効期限調査に加え、その結果を毎回文書で看護部へフィードバックすることで適正な保管管理の注意喚起を行っています。

次に『ヒト』を対象とした業務における安全対策です。

まず、病棟業務における医療安全対策についてです。高度化かつ複雑化する医療の中で、病院薬剤師は医療従事者に対し、より深く多岐にわたり関わることで医薬品の適正使用の推進と安全使用への貢献が求められています。患者への服薬指導のほかに、腎機能低下患者への投与量や検査が必要な薬剤のチェックなどカルテや処方の確認により、必要に応じて医師への処方提案を実施しています。また医療スタッフへの最新かつ的確な医薬品情報の提供、薬物治療効果・副作用モニタリングを実施し、医師へその情報をフィードバックするなど、薬物治療における医療安全を実践しています。さらにこれらの事例は医薬品適正使用に関する取組みとして薬剤部懇談会（毎月 2 回実施）で報告を行い、情報共有による薬剤師のスキルアップを図っています。

医薬品情報管理業務では院内医薬品情報システム（MDview）への医薬品情報等を掲載、院内メール等による医療スタッフや関係部署へ最新の医薬品情報を提供することで医薬品安全使用に寄与しています。以上、薬剤部における医療安全対策について業務ごとに紹介しました。

最後にリスクマネージャーとしての活動を紹介します。昨年度まで院内医薬品安全使用のための研修会を年 1 回実施してきましたが、平成 29 年度からは従来の全体研修会に加えて、関連部署への定期研修会（複数回）を開始しました。業種に応じた内容の研修会を実施することで医療安全対策がより身近になったと感じています。この開催方法については来年度も継続して実施する予定です。

病院薬剤師による医薬品適正使用の推進が医療安全に大きく貢献していると確信し、これからも調剤、医薬品の供給・管理、病棟業務、その他の薬事業務を通じて医薬品の安全で合理的な使用を目指していきたいと考えています。



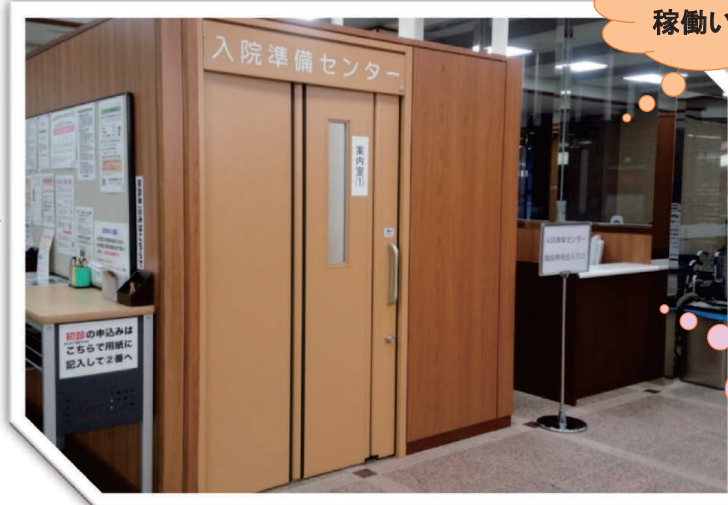
入院準備センター 開設

診療管理棟 1階

(総合待合ロビー横)

2017年10月より稼働いたしました！

案内室は
2室
あります
※案内室(1)は
バリアフリー
です。



受付

入院準備センターって？

入院が決定した患者さまに対して、入院前の事務的な手続きを含む事前準備に関する事柄をはじめとして、入院生活に関するご案内や、通常手術前に行う説明など（代行入力を含む）を行い、退院までの流れについて、一括して、ご案内するところです。

目的

- ①患者サービスの質の向上に資する
患者・家族の入院および手術に対する疑問や不安を軽減し、安心して入院して頂く
- ②医師・看護師の負担軽減を図る
ひいては業務の効率化、スタッフのモチベーションの維持・向上、病院機能の向上、さらなる医療の質の向上につなげる

構成スタッフ

- ・ 医師
- ・ 薬剤師
- ・ ドクターエイド
- ・ 看護師
- ・ 医事課事務員
- ・ 受付

対象疾患

当面の間は、一部の疾患（クリニカルパス適用患者）を対象として運用していきます。運用の趨勢やニーズなどをみて、対象疾患を広げていく予定です。



入院

退院



従前の精神科訪問看護から始まり、H26年には一般科の訪問看護室が開設されました。H28年度診療報酬改定を機に、従来の退院調整から退院支援にシフトし、退院支援看護師は、病棟や地医連、また外部関係者などと連携し、患者支援と病院収益（退院支援加算1）に貢献してくれています。病院に限らず一般企業においても、‘調整役’や‘コーディネーター’は豊富な経験とスキルが必要で大変な仕事です。今回、入院準備センターが開設され、入院前から退院後までの一連の流れにおけるハード面が整いました。今後は、よりサービスを向上していきたいと思うので、ご協力よろしくお願ひします。スタッフ一人ひとりが地域医療貢献です！職種や職階の垣根を越えて。

入院準備センター委員会 西森 敬司
情報企画課 白山 哲也

New Face New Face

中嶋 宏児

耳鼻咽喉科
医師



1月から耳鼻咽喉科に勤務しております。2年ぶりに日高病院へ戻ってまいりました。大学での2年間は慌ただしく、専門医、学位の取得に追われ日常診療に忙殺される日々でした。2度目の本院勤務では、以前よりきめ細かに余裕をもって診療できればと考えております。お昼の手作りお味噌汁をまた頂ける幸せを噛み締めながら、日高地区の医療に貢献していければ幸いです。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します

岡本 拓希

リハビリテーションセンター
理学療法士

趣味：映画鑑賞

特技：料理をすること

ひとこと：一日でも早く当院に貢献できるよう頑張りたいと思います。よろしくお願い致します。

梶田 明希

リハビリテーションセンター
作業療法士

趣味：野球

ひとこと：昨年末和歌山県に引っ越して来たばかりですので、業務面だけでなく地域のこともお教え頂けたらと思います。よろしくお願い致します。

表彰・認定・研修修了者等

おめでとうございます☆

平成29年11月30日

●薬事衛生に関する功績に対する知事感謝状
見上 富美代

平成29年8月21日

●自衛消防業務再講習
藤本 順智、西 一成

平成29年9月23、24日

●第39回日本病院薬剤師会実務者研修会
井元 祥恵

平成29年11月16日

●平成29年度医療ガス安全講習会
渡辺 晃也、柴崎 博和

平成29年11月18日～19日

●和歌山県においてがん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会
桑島 史明

●和歌山県においてがん診療に携わる医師以外の医療従事者に対する緩和ケア研修会
上道 由佳、久保 恵美、野手 真由

DMAT 関係

平成29年11月4、5日

●近畿ブロックDMAT技能維持研修
西 秀人、山本 悠貴、井原 克己

平成29年11月6日～9日

●災害派遣医療チーム(DMAT)研修
宮本 選、皆川 紀代、
宮崎 翠、西川 瑞人

平成29年12月13日～16日

●災害派遣医療チーム(DMAT)研修
坂部 竜司

御坊保健所との感染症患者受け入れ訓練

2017年11月22日(水)

2類感染症(新型インフルエンザ)に感染した患者受け入れ訓練

開催場所：国保日高総合病院

御坊保健所との合同で行われました。



No.43

2018年2月

月の手 TOUCH

国保日高総合病院

〒644-8655 和歌山県御坊市菌116番地2

TEL0738-22-1111(代表)

病院長 曾和正憲

<http://www.hidakagh.gobo.wakayama.jp/>

(9)

外 来 診 療 担 当 医 師 表

平成30年1月4日現在

			月	火	水	木	金	
Aブロック	整形外科	1診	湯川 <small>指定患者のみ</small>	西	西	金川	宮本	
		2診	坂田	金川	宮本	坂田		
		リハビリ テーション診	宮本	坂田	坂田	宮本	金川	
		義肢装具	義肢装具12:00より	義肢装具10:30より	義肢装具15:30より			
	麻酔科	午前	羽場 <small>指定患者のみ</small>	羽場 <small>指定患者のみ</small>		羽場 <small>指定患者のみ</small>	羽場 <small>指定患者のみ</small>	
Bブロック	外科(消化器)	1診	山口和	有井	有井	山口和	山口俊	
		2診	山口俊		山口俊	有井		
	小児科	1診	派遣医神波	五嶋	芳山	飯島	芳山	
		2診	飯島	(芳山)	米良	五嶋	飯島 第1・3	神経外来 津田 第2・4(予約)
		午後診 (予約)		予防接種 芳山・五嶋 交替制	腎外来(第3週) 派遣医 島	1カ月健診 五嶋・米良	心臓外来 第1~3週 派遣医(鈴木・武内・末永)	
	脳神経外科	1診	尾崎	沖田	森脇	尾崎	大林	
		2診	大林	尾崎	派遣医	大林	沖田	
		午後3診 (予約)		もの忘れ外来(月1回) 交替制			もの忘れ外来(月1回) 交替制	
		5診 (予約)		森脇			森脇	
	皮膚科		派遣医		派遣医	派遣医	派遣医(午後より) 第1・3・5金曜日のみ 13:00~15:45	
	形成外科			派遣医 久米川 受付は10:30まで				
Cブロック	眼科		井上	派遣医 新患は11:30まで	井上 受付は11:00まで	派遣医 新患は11:00まで	井上 午前中	
	泌尿器科	1診	青枝	青枝	青枝		青枝	
		2診	派遣医宮井				派遣医若宮	
		午後診	青枝 <small>指定患者のみ</small>	青枝 <small>指定患者のみ</small>	青枝 <small>指定患者のみ</small>	手術日	青枝 <small>指定患者のみ</small>	
Dブロック	内科	第1内科	1診	東	松谷	寺杣	松谷	東
			2診	玉置哲	西川	派遣医玉置秀	西川	桑島
		第2内科	5診		宮田	吉松	山本怜	玉置真
	6診		河島	玉置真	河島	宮田	河島	
	第3内科	10診			新谷			
	専門外来	8診	(午前)腎外来 派遣医 国本			(午前)血液専門外来 派遣医 阪口 (午後) 派遣医 濱西		
		10診		(午後) 派遣医 濱西	肝臓外来 派遣医 玉井 (13:00より)	(午後)甲状腺専門外来 派遣医 赤水 第4木曜日	大腸専門外来 派遣医 加藤 (14:00より)	
	循環器内科	15診	今西	玉置哲	今西	今西	小向	
		12診	横山	片岩	小向	片岩	横山	
		8診		寺口	寺口		寺口	
Eブロック	耳鼻咽喉科	1診	山本	山本 <small>再診のみ</small>	中嶋	派遣医	山本	
		2診	中嶋	担当医 初診のみ			中嶋	
	産婦人科	1診	曾和	南條	島	西森	結木	
		2診	西森	結木	曾和	南條	島	
		午後		産科エコー 南	手術日	手術日	産科エコー 八木	
精神科	1診	北端	前田	北端	北端	前田		
	2診		安田	安田	前田	安田		
	3診	派遣医						
歯科口腔外科		中谷	手術日	中谷	手術日	中谷		
放射線科	読影	竹内	竹内	竹内	竹内	竹内		
	午後				血管造影			

《 都合により、変更する場合がございます。 》



国保日高総合病院 TEL:0738-22-1111 (代表)